

様式2

平成26年度自己評価表

鳥取県立日野高等学校

<b>中長期目標 (学校ビジョン)</b>	1 小さくてもキラリと光り輝く学校 2 一人ひとりを大切に作る学校 3 地域に信頼される学校	<b>今年度の重点目標</b>	1 【学力の充実】「わかりやすい授業」を工夫し学力の向上を図る。 2 【豊かな人間性の育成】ルール・マナーを身につけさせる。 3 【進路指導の充実】キャリア教育を推進し進路希望の実現を図る。 4 【光り輝く学校づくり】地域との連携を図る。
---------------------------	------------------------------------------------------	-----------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

年度当初					評価結果( )月		
評価項目	評価の具体項目	現状	目標 (年度末の目指す姿)	目標達成のための方策	経過・達成状況	評価	改善方策
1. 【学力の充実】  わかりやすい授業を工夫し学力の向上を図る。	授業力の向上	概ね落ち着いた雰囲気の中で、授業が行われている。	生徒が授業内容を理解し、積極的に授業に取り組むとともに、授業規律を確立させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業ごとの目標を定め、教員はその目標を生徒に最初に明確に示してから授業に入る。</li> <li>プロジェクト委員会での学校改革を推進する。</li> <li>生徒による授業評価をし、授業の自己点検を行う。</li> <li>先進校視察を実施し研鑽を積むことで、授業力の向上につなげる</li> </ul>			
	個に応じた学習指導	少人数指導・個別指導で生徒に細やかに対応し学力の定着に努めている。	生徒それぞれの学習状況、進路希望に応じて学力を高めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路希望や能力に応じた適切な指導を行う。</li> <li>授業形態や教材の工夫・改善を図る。</li> <li>個別補習・個別面談などを通し、生徒の状況把握をし、進路実現を図る。</li> </ul>			
	基礎学力の向上	就職、進学に必要な基礎学力が十分身につけていない生徒もいる。	卒業時までに進路実現に必要な学力を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力をつけるために国英数での習熟度授業を実施。</li> <li>基礎学力向上授業「ベーシック」の導入に向け取り組む。</li> <li>基本的な生活習慣の確立を図れるよう保護者との連携をさらに密にする。</li> </ul>			
2. 【豊かな人間性の育成】  ルール・マナーを身につけさせる。	TEASの推進	環境に対する意識が高まり、学校の美化が進んでいる。	生徒が落ち着いて学べ、生き生きと活動できるような環境の整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境委員会を活性化し、校内美化意識向上につながる情報発信に努める。</li> <li>根雨地区でのボランティア清掃に引き続き取り組む。</li> <li>TEASを継続し、ゴミの分別に努める。</li> </ul>			
	安心・安全な学校生活	指導部と各学年の連携が取れ、全体として落ち着いた状況にある。	校内外での生徒の規範意識を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>全教職員が指導方針を統一して取り組む。</li> <li>「改善指導カード」を活用し、生徒指導の徹底を図る。</li> <li>服装、言葉遣い、授業中の態度などの指導を徹底する。</li> <li>いじめ・暴力は絶対に許さないという指導の徹底。</li> </ul>			
	特別支援教育・人権教育の充実	多様な悩みを抱えた生徒に対して、相談・支援体制が充実している。	自己や他者を肯定的に評価し、円満な人間関係を築くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の生徒の課題を把握し、ケース会議等を開催し支援を行う。</li> <li>生徒支援ネットワーク事業の拠点校として、本校にもその成果を還元する。</li> <li>スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、若者サポートステーション、特別支援学校とも連携して生徒支援を行う。</li> </ul>			

評価項目	評価の具体項目	現状	目標 (年度末の目指す姿)	目標達成のための方策	経過・達成状況	評価	改善方策
3.【進路指導の充実】	すべての生徒の進路保障	自分の進路を実現するために、具体的に今何をしたら良いのか不明な生徒もいる。	生徒に的確な情報を提供し、全職員による進路指導体制を確立し、すべての生徒の進路実現を達成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸ガイダンス、講演などを通じ、保護者・生徒へ適切な進路情報の提供を行う。</li> <li>・学年・進路専任にとどまらない全職員による指導体制を確立する。</li> <li>・3年間を見通した進路指導計画を作成し、きめ細かく支援する。</li> </ul>			
	キャリア教育を推進し進路希望の実現を図る。	キャリア教育の推進	さまざまな行事を通して、早期にキャリア教育に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業・産業社会と人間・課題研究などさまざまな場面で生徒の自己表現や発表の場面を増やしていく。</li> <li>・身近な新社会人の講話を行い、生徒の進路意識を高める。</li> <li>・学校・事業所見学、職場体験実習、農業体験学習などを実施し、進路に対する意識づけを強める。</li> </ul>			
	資格取得の推進	情報・ビジネス、アグリライフ、福祉・健康系列などそれぞれの系列で資格取得に努めている。	就職に強い介護職員初任者研修終了者資格者など、各種資格取得者を各系列で増加させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護教育を推進し、地域に貢献できる人材を養成する。</li> <li>・各種資格の積極的な取得を、それぞれの授業で呼びかけを強める。</li> <li>・教員対象の各種研修を実施し、教員の指導力を高め、学校として統一した基準で指導できるようにする。</li> </ul>			
4.【光り輝く学校づくり】	地域交流活動の推進	日野高ショップ、各種ボランティア活動などを通して地域の方々と交流を深めている。	異世代の方々との交流を通して、自分の考えや意見を適切に表現する能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い層の方に農場を開放し、専門知識を地域の方に還元する。</li> <li>・文化、スポーツ等の地域活動に積極的に参加する。</li> <li>・福祉そば打ち・福祉餅つきなどのボランティア活動に積極的に取り組む。</li> </ul>			
	地域との連携を図る。	部活動、生徒会活動、各種音楽活動による学校の活性化	部活動、生徒会活動、音楽関連の諸行事を通じ、協調性や責任感を培い、社会で生き抜く力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間形成あるいは幅広い人間関係を構築する場として部活動加入の重要性を折に触れて説く。</li> <li>・生徒会執行部が主体となって、企画・運営する生徒会行事を増やす。</li> <li>・責任感と主体性の育成及び達成感を体験させるため、生徒会活動、委員会活動を活性化する。</li> <li>・音楽関連諸行事の広報活動に努める。</li> </ul>			
	地域や保護者への情報発信	学校広報誌日野川を発行し、ホームページを頻繁に更新するなどして、学校の様子を地域や保護者に発信している。	保護者・地域・中学校への情報発信に工夫を凝らし、タイムリーに情報を発信する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「開かれた学校づくり」を念頭に置き、保護者・地域と連携して、諸活動に取り組む。</li> <li>・新聞掲載やテレビ出演の機会を設け、本校の情報を積極的に発信する。</li> <li>・学校報告会、PTA総会の公開授業などを土曜日開催とし、保護者が出席しやすい状況を整える。</li> </ul>			

評価基準 A: ほぼ達成 B: 概ね達成 C: 変化の兆し D: まだ不十分

